断枝片葉 (其十一)

號五第卷二第誌雜究研物 **分数** 述 啓原 ヲ 涌 细 吾 俥 氏 說 植學 記 書 ク野 ラ 原タル 一善多 榕 着 ズ デ セ カ 識 全體 テ ラ 後 , シ 7 ୬ ٠ 之レ 「名疏 著 序 ኑ" H ラ ア 尼 ペハ Ĕ モ サ ペノ シ宜 1) 訶 ラ ۱۷ 文 テ ズ = ₹ 富 及 ヺ DI 中 デ ヲ 居 文 私 其 , 經 デ 文 官 間 ァ ۲۷ 1 テ 見 ナ 3 w 丽 濫 笙 本 童 ズ iv カ 颪 ij 多 , = ガ ス 游 忽チ 即 觴 唯 ガ Ŧ Æ r 作 17 3/ 尼 拠 此 博 虔 七 書 漢 w タ 訶 ŀ チ ۱۷ ŀ 3 植。批 其 = 架 文 ゥ 车 採 'n 士ガ其著 ナ ガ 1) 子全卷 物学到 ナ デ Æ ス ン ٧. 〜 チ牧 植野 先 ŀ 學」ヲ 前 間 全 見上 ż 45 べ ハ セ キ 所ヲ 云 Ŧ ア 學啓原 細 加 w ŋ = = ¥ ~ # 對 宇 備 讀 兎 ガ フ ıν 『日本 弫 以テ ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚ Ě ゙ヺ ア 7 _ 東 V ₹/ フ 角能 ヲ以 ァ 然 澷 Æ 春 111 1 べ ス iv 門人 見 醫學史』 氏 榕 該 * w = Æ ラ 植o 諸 其 車 我 ガ ナ 書 ν デ 1 伊 書 其 國 柄 ア デ " ア デ ガ 學。藤 東 正をこ テ 7 文 ァ n Ħ w ヲ 中 居 ヺ゜ 方 資格 本 w 政 w 巫 本 = 本 ŀ が介 書 即 易 ゚ヺ HILL 渦 植 Ŧī. 思 w H 物 ソ 其 年 チ ₹ ***** フ 息 本 志 泥 其 叙 書。而 テ 3 ŀ + Ð ヲ 流 醫 始 テ テ 故 74 明 ァ 1 テ ₹ 前 去 初。草 又其 植 東 麗 事 テ ッ Æ 70 = 榕菴 斯 物 述 洋 テ Ŧ 附 方 7 ŋ **≥**⁄ ŀ 名 年 文 植 名 仐 叙 得 表 璺 書 ス 疏 ス 章 我 百二 璺 ~ 我 タ ヲ ァ 氏 3/ 著 泰 來 3 H 植 カ 天 iv 無 附 力 ŀ モ ヲ -書 ラ ラ 書 保 ヲ 銤 西 本 物 1 3 丰 ッ 言 抽 本 璺 テ テ 加 知 帝 ザ デ カ 7 泉 其 IJ 1111 草 國 ッ ア 年 ラ ٠, キ w ν 名 來 行 斯 及 專 テ w タ 李 ৶ ハ 欄 是 疏 始 正 通 文 氏 . L 學 ッ ガ モ 1 18 其 テ 首次用 其 ァ ヌ ν テ 月 = = ۱۷ 臚 此 唯 1 泰 肯 歷 假 + 功 ッ 1 ッシ 書 西 令 業 テ IJ 列 出 史 兀 字 デ ッ カ 的 難 其 綱 \mathbf{H} 亦 r **≥**⁄ 版 ~ w 1 _ 植 決 植 ネ 價 澀 ヲ Ш 大 w タ デ ア 植 學 氏 物 ァ 値 說 榕 ナ 璺 ア €/ w 學 恒物學ノコト 植物學術芸 植 力 迹 啓 啓 ク 菴 ラ w 前 ₹ テ w ラ 植 原 デ 原 ズ = ガ 實 之 般 物 ナ 而 植 ャ ヱ 植物 前 ッ 才 **≥**⁄ 啓文漢我 植 前 記 テ 科 テ = 語 故

未源

更

æ

ガ

ラ

伊

阿枝片 文章 (其十二)

了富太郎

牧

ĕ

ī

(110)Æ

3

發

ガ充テラレ

テアル

然

シ

支那

がデ芭蕉

ŀ

云フノハ必ズシモ一種

ニ限ラレ

タ名デナ

博

其 ッ

類ヲ

指

B

總名 從來 をト

ァ

ばな

種

ナ

'n

甘蕉

ナ

ドモ ス

其

二種

=

属ス

JV.

芭蕉ノ

字

譯

蕉 ジ意

ガ

7 n

枚

1

舒

7 故

ガ

 ν

jν

故三之ヲ蕉

ŀ

稱

ル

又巴ハ

乾物

ジン俗

いちねがし

(Quercus gilva BL.) ノ堅果

ヲ

Ħ 言デ是

ロ乾シ唐日で是レモ

蕉ト

同

ボデア

w 葉 'n

是

レガ

芭蕉 テ

意

デ ガ

iv

焦力

乗セ

ラ

蒸

共二搗き交ど餅ト

ナシテ食スル

、色ハ茶色デ好事ノ家デ之ヲ製

ス

(大和

奈良

公園

デ =

揑 ス

ネ v 味 葉 3 思

糯 テ

Ŀ

水 ア

一聞ク)

樹へ

我邦西南暖地ニ多ク奈良公園ニモ大木ガアル同公園デハ其實ヲ鹿ガ好ンデ食ス

.ロ シ

毎日 ちゐ 枚 'n

度ッ

水ヲ

換

週間許シテ之ヲ日

・乾シ唐臼デ

/搗テ粉

ŀ

ナシ幾度モ縒デ通シ之ヲ熱湯1デ搗ラ果皮ヲ去リ其種子ヲ桶

Ŀ 年 + Œ 大

z),

を見 ァ

は蕭 モ

宵

韻 カ

の字を古は

らうの

Ď

なは用

おね

b シ

トアル ハ

或ハ

ン

j タ

ŀ

デラノ處ヲ特ニ

テ

レド

是レモ

同

シ

ク正シクナイ、

然シ徂徠ノ『南留別志』ニ

ニモ ク

波世乎 ・ト思フ

波」、『倭名鈔』ニ 『下學集』ニハ

-

٠, シ

セ 3

ヲ ラート フカハ

ノハ

發勢乎

波

い「芭蕉をはせをとかさ紀

長谷雄を發昭

غ ŀ Æ

タモ

デ 'n

モ

アラ

ゥ ö

O

H

本ノばせうハ元

來

水我土

|産デナク蓋 事と見へた

原 L_

支那

カ

ラ

渡シ =

Æ =

1

デ

アラウ

ŀ

ラ

是

レ 書

バセウ」デアラネバナラヌ又『本草和名』

ィ

ァ

'n

ï

ガ實ノ

方へ

波世乎波

レトアル

是レ

ハ

正シ

·}

1

/ 其邊ノ

仔細

ガ能ク了解セラル

ル、古ク『和名本草』デハ根

バ モ

ž

テア

波世字ト

正 **ا**"

〜は逢初を藍染にいひかけない日記に岡はをかなるをつくじ

けなどい

とみだりが

は芭蕉はばせ

うなるを心

じんだったいなった。 Æ

かしからまいれる。

| 逐行 如 -}-

ヲ手

傳

ハ ۱ر

セ

Þ

事

は

こくなりにたり 」トアルヲ見レバ

と撰集に

it

紅

外が梅には

にも又戀を古居といるはこうばいなるを聞

〈戀を古居といひ四位を椎にいひかけのち~は、たらばいなるを鸎の子をばいかにとよみ蜻蛉日記。 巻ノーニ「古今集はをさ~く誤なきを物の名に「卷ノーニ「古今集はをさ~く誤なきを物の名に「成政ル昔ノ歌ノ其句ノ上カラノ掛リニョッテ其誤

了隨筆 ŀ

ガ

7

É

叉 アル

『傍府』 ニュー 東ニュー

とよみその

アル iv

゙゙カラデ

然

ルニ ハ誤

從

一來之ヲ殊

更 假

ばせを

書 ÷

ィ ナ ラ ヶ

ァ ν

何 ィ

是レ ŀ

何故

力 ۱۷

昔

力 蕉

ラ

ŋ 音

來 力

> ッ ラ

タ 來

斷

枝

片

葉

(其十二)

ばせをトスル

假名

芭蕉

名

ď

4

5 ŀ

Ň

7.

ラ

=

ば

はせう

芭